

こうち福祉だより

341号
平成27年12月
(2015年12月)
河内地区社会
福祉協議会発行

未来のまちづくりを 区長と語る

佐伯区の未来のまちづくりに生かすため、地域の現状と課題等について、河内地区団体代表(12名)と区役所の幹部(9名)が意見交換を行う会が、11月13日に公民館で開催されました。

テーマは、河内地区が力を入れていることや力を入れようとしていること、事前打ち合わせ会議を行い、河内の大テーマは「誰もが住んでよかった、住み続けたいと思える中山間地河内のまちづくり」に決定、個別のテーマは、



- ・地域の活性化
 - ・高齢者の社会参加
 - ・防災意識の高揚
 - ・女性の仲間づくり
 - ・環境の美化
 - ・青少年の健全育成
 - ・防犯意識の高揚
 - ・町内会の加入促進
- の8テーマについて、団体長が今まで取り組んできたことを発表しました。

「力を入れようとしていること」は、

- ★高齢者が生きがいを持って生活や活動ができる環境づくり
- ★青少年が健全に育つ環境づくり
- ★子育ての支援ができる環境づくり

を掲げ、各団体の協力・支援で成就させていくことを発表しました。

また、佐伯区 の重点的な取 り組みは

- ① 区民が主体となるまちづくり活動の更なる活性化
 - ② 災害に強いまちづくり
 - ③ 中山間地域の活性化
 - ④ 大型クルーズ船の寄港を活かしたまちづくりです。
- 更なるまちづくりに精進致しますで、皆様ご支援・ご協力をお願い致します。

町内会連合会 杉田精司

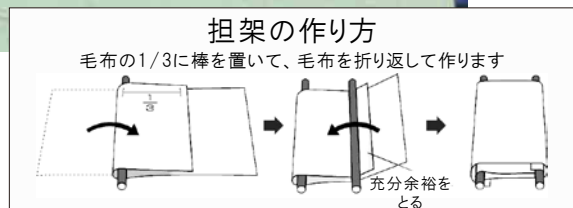


運動会で学んだ救助担架

10月25日に行われた町民運動会、初めての試みとして遊び心を加え、知っておくと、いざという時にとでも役に立つ救助リレーが消防署員の方の指導の下に行われた。地域・PTA・児童の参加により、1チームが編成され声を掛け合い、協力しつ、安全に行われた。

競争ではないが、負けたくないのが、運動会。応援席も、早く早くとは、言わずとも、頑張れと応援をした。

命をつなぐリレーが運動会のあるとは？さすが河内。翌日の中国新聞に大きく写真付きで掲載された記事を見て、びっくりポンであった。白組応援席より



マイナンバーカードが 届きます！

社会保障・税制度に必要なマイナンバーカードは、住民票の住所に簡易書留で届きます。写真付の個人番号カードは希望者のみ申請します。大切に保管しましょう。12月末になっても届かない方は、区役所市民課に連絡してください。

直通 ☎ 082 (943) 9708

河内地区散策

11月14日(土)、雨にもかかわらず60名が集合し、下河内や小深川の遺跡を巡りました。お話を聞きながらの散策は、当時の情景が浮かんでくるようで、郡橋まで往來していた川舟や、隙間なく組まれた水路の石垣、想像より大きかった木工沈床、急に雨が強くなり、雷鳴が聞えた権現さんと、河内が古くから続いていることを感じました。

『楮は小遣い稼いだつた』と言われました。小遣いとは、臨時収入のこと、修学旅行などの代金に充てたそうです。

また、寺川観音の由来を調べた、達筆の巻物も拝見。経緯を読んでみると、物語のように面白いものでした。お勧めです。

最後に、これが目的では？と思うほど盛り上がった豚汁&猪肉会でした。ありがとうございました。M&T